第23回秋田県障害者技能競技大会
「木工」競技課題

次の注意事項及び手順に従って、課題図に示す作品を製作しなさい。

1. 注意事項

（1）競技開始後、質問等がある場合、参加者は手を上げて名札着用の審査員の指示を受けること。

（2）競技開始後、付添者等は、競技終了まで参加者に声掛けはできないこと。

（3）使用工具及び使用機械は、「5. 参加者が準備、持参する工具等備品一覧表」及び「6. 競技会場に置かれている工具等備品一覧表」に示すものに限る。特に、工具類に型等を取り付けたり、けびき・かんな等の事前固定はしないこと。

（4）競技開始前に審査員による工具チェックを実施する。

（5）競技中、工具の使用には十分注意し、怪我をしないように気を付けること。
特に「のみ」「のこぎり」の２工具については、以下の内容について注意すること。

① のみ
- 材料を突き削る時は、「のみ」を両手で持ち少量ずつそぐように削ること
- 材料を「のみ」で加工（特に小さい材料）する時は、動かないように固定すること。
- 「のみ」はよく研いである切れるものを使用すること。また、「のみ」が切れ止んできた時は、無理な力を使わず少しずつ削ること。

② のこぎり
- 刃の近くに手を置かないこと
- 切り落とす側を押さえないこと
- 挽き始めと終わりはゆっくりと挽くこと
- 材料を切っている時に予想外の方向に刃が行かないよう、無理に力を加えないこと

（6）支給材料の寸法及び数量は、「4. 支給材料」に示すとおりであること。

（7）支給材料に異常がある場合には、申し出ること。

（8）支給材料は材料の欠陥のない限り、再支給しないこと。但し、仕損じにより材料交換をしないと課題が完成しない場合には、材料交換を行うこと。その場合には、減点対象とすること。

（9）競技中は、工具の貸し借りを禁止すること。

（10）競技時の服装は、競技に適したものであること。

（11）他の競技者が卓上ボール盤を使用している場合は、並んで待つこと。

（12）製作時間の評価は、2時間以内に課題の製作を終了すれば「減点なし」とすること。時間を有効に活用し、ていねいな作品作りを行うこと。

（13）作品は閉会式終了後、受付で付添の先生に渡すので学校で受け取ること。

2. 競技時間　　120分

3. 仕　様

（1）製作する箱の隅は三枚組み接ぎに隠しくぎ打ちダボ埋めとすること。

（2）ダボ埋めのための穴あけは、会場に準備してある卓上ボール盤で競技者自身が穴あけすること。

（3）くぎ打ちにはくぎ締めを使用し、三枚組継ぎの組立てとダボ埋め込みには接着剤を用いること。

（4）加工にはのこぎり・のみ・罫引き等を使用すること

（5）組立ての微調整にはかんなを使用してもよい。

（6）箱の底板は接着剤で接着し、指定の位置にくぎ打ちとすること。

（7）箱の角は、すべて糸面取りとする。

4. 支給材料

No.	部品名	寸　法(mm)			数量	備　考
		長さ	幅	厚さ		
1	箱 側 板	350. 3	75. 5	12. 3	2	朴木
2	箱 側 板	250. 3	75. 5	12. 3	2	朴木
3	箱 底 板	350	250	4	1	シナ合板(両面仕上げ)
4	鉄　釘	25	―	―	12	平頭(枠用)
5	鉄　釘	15	―	―	16	平頭(底板用)
6	ダ　ボ	100	Ø6		2	
7	接 着 剤 (木工ボンド)				1	酢酸ビニール樹脂 エマルジョン
8	サンドペーパー				2	

※上記以外の材料の持ち込みはできないこと。(同等品を含む)

5. 参加者が準備、持参する工具等備品一覧表

No.	品　名	規格・寸法(mm)	数量	備　考
1	両歯のこぎり	240～270	1	替え刃式も可
2	胴付のこぎり	210～240	1	同上
3	平(手)かんな	中・仕上げ	各1	
4	切り面かんな		1	
5	追(大)入れのみ	9～36	適宜	
6	クランプ	150～210	適宜	
7	突きのみ	9～24	適宜	
8	ものさし	600程度	1	さしがね・スケール(鋼尺コンベックススケールも可)
9	直角定規(スコヤ)	200程度	1	木矩も可
10	挽き当て定規	直線胴付きびき用	1	
11	白書き		1	
12	筋けびき		1	
13	直角木口台	300×300程度	1	
14	玄のう	小・中	各1	
15	釘締め		1	
16	釘抜き	バール(長さ150程度)	1	
17	打ちあて	クランプ用のあて木にも使用	適宜	
18	端金	450 程度	適宜	
19	きり(手もみ)	四つ目きり	1	針打ちの位置決め用

20	鉛筆		適宜	墨付け用
21	消しゴム		1	
22	のリベら・ボンド刷毛		1	
23	保護メガネ			卓上ボール盤を使用する際に着用が望ましい（会場にも予備2個を用意しています。）
24	真鍮皿			接着剤（木工用ボンド）を入れる皿

注1）同種のものについては、予備工具を持参してもよい。ただし、同種のものは3個以内とする

注2）一覧表に記載されていても、競技者が必要ないと判断した工具については、持参しなくてもよい。

6. 競技会場に置かれている工具等備品一覧表

No.	準備物名	規格・寸法（mm）	数量	備　考
1	材料一式	上記「4. 支給材料」のとおり	1セット	全員
2	小型ほうき・ちりとり		1セット	全員
3	卓上ボール盤 （ホーザン株式会社製　K－21　予定）	5. 5mm木工錐付	2	
4	保護メガネ	メガネの上から着用できるタイプ	2	予備用
5	バケツ		1	接着剤ふき取り用
6	布のウエス（綿）又は綿タオル		1	

7. 審査基準

以下の基準により審査を行うこと。

（1）寸法精度～指定寸法と完成品の合致状況

（2）できばえ～仕上げ度(くぎ打ち位置およびダボ位置、三枚組接ぎ部の隙間)

（3）作業工程・態度～基本動作、作業手順、全体の仕上がり度等、全般的な評価